

思春期保健ネットワーク Vol.17

ニュースレター

令和元年11月号



発行：八千代市思春期保健ネットワーク会議
問い合わせ：事務局（八千代市母子保健課）
☎047-486-7250

平成30年度思春期保健シンポジウム「10代の生と性 第12回」を開催

平成31年2月3日（日）八千代市総合生涯学習プラザで思春期保健シンポジウムを開催しました。

今年のテーマは「『性別で見る多様性と人権』～見えない／見せないしんどさを抱える子どもに向き合う～」で、ダイブーン代表の飯田亮瑠氏をお招きして開催しました。ご自身の経験を織り交ぜながら、具体的で分かりやすい講演は、あっという間に時間が過ぎました。当日シンポジウムにご来場いただけなかった皆様にもシンポジウムの様子をお届けしたいと思います。

Diveinnon ダイブーン 代表 飯田 亮瑠(いいた あきる) 氏



 Diveinnon

自身の性別に関する葛藤の経験から、性や多様性を見つめ直す機会をもっと社会に提供したい、特に子どもたちへ考える機会を作りたいという想いで、セクシュアリティに関して学ぶ。東京福祉大学通信課程にて養護教諭免許取得。性の多様性（特に性別違和感）をテーマに、小学生から大人まで幅広く講演などの活動を行っている。ダイブーンとは、ダイバーシティ（多様性）とイノベーション（改革・新機軸）からの造語で、多様性の価値観に触れる機会を社会に提供することを使命としている。

日本のLGBTなどのセクシュアルマイノリティー（性的少数者）の割合は13人に1人くらい（諸説あり）と言われています。最近では、セクシャルマイノリティーをオープンにする人も増えて、言葉も知られるようになりました。しかし、まだ身近には、「言えない」空気が存在しているのではないのでしょうか。作りだしているのは「知らない」ことによる偏見です。無意識の加害者にならないように、その偏見から抜け出すポイントとして、



自分の性を生きることは人権

セクシュアルマイノリティーは、自分で選択してそうしているわけでも、わがままやさぼりたいわけでも、目立ちたいわけでも、親の育て方が悪いわけでもありません。

理解から偏見をなくそう

無意識にホモやレズなどの差別表現や偏見で、いじめの加害者にならないために、少しずつでも「知る」ことから始めましょう。そして、多様な性があり、性別も自分（アイデンティティ）の一要素。他人と同じでも、違って、個性があってもよいのです。

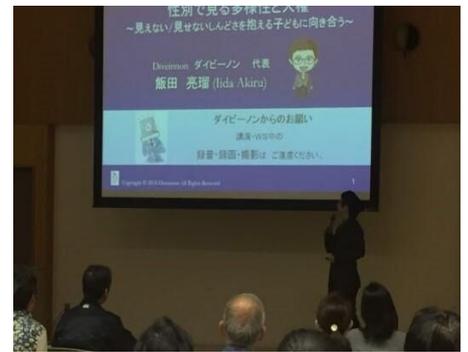
決めつけない

男らしさ・女らしさの区別、「男ならこうあるべき」「女はこうあるべき」に対して、しんどさを抱える人がいるかもしれません。不要な性別の区別をやめてみましょう。性別を理由に注意するより、その人らしさをポジティブに捉えてみましょう。

最近では世界中や日本国内でも、性の多様性に関する社会の取り組みは広がってきましたが、トイレや制服、人間関係などにおいて、今なお偏見や差別にしんどさを抱えながら生活をされている人がいます。あなたが、性の多様性を“知らない”ことで、命を追いつめる可能性があります。あなたが“知っている”ことで、命を救う可能性もあります。

性の多様性を理解し、味方になってくれる人が、たった一人でもいることで、自分なりの幸せを見つけて生活できるのではないのでしょうか。

学校、会社、家庭で皆さんが性別を含めた様々な多様性を学び、不安や悩みが少しでも解消され、より居心地のよい環境になることを願っています。



～講演アンケートより～

- L G B Tの子への対応に目がいきがちだが、全ての子どもたちが過ごしやすいように、無意識を変えることが、空気を変えることにつながる。
- 少しの気遣いや理解することでより良い社会になる。知ることから出来るが増えるとよい。親として子どもに示していかなければいけない。
- 講師ご自身の当事者としての目線、考えから伝わってくるものが大きく、言葉に気をつけて暮らしたいと思いました。

思春期保健ネットワーク 12年間の活動



平成 18 年 8 月、「10 代の生と性」の課題に取り組むため、小さな一歩を歩み始めた「八千代市思春期保健ネットワーク会議」も 12 年を経過しました。性教育を単なる「性知識の伝達」だけに終わらせることなく、広く「人間教育」として捉え、八千代市の子どもたちが、自己を肯定し、仲間やパートナーを大切に、思いやりを持った素敵な大人に成長してくれることを願い、これまで活動してきました。思春期保健ネットワーク会議の主な活動を簡単に紹介いたします。

学校での実践を支援！！

八千代市オリジナル教材の作成

市内の中学校保健体育科教諭や養護教諭を中心に、中学 3 年生で学習する「性感染症予防・エイズ予防」の授業で活用できるようなオリジナル教材を作成しました。

教材外部講師リスト作成

小中学校の「生と性の教育」実践に役立てていただくために、八千代市母子保健課や紙面調査で賛同いただけた小中学校が所有している教材等の情報をリスト化し、学校間でやり取りできるようにしました。

子どもへの正しい知識の提供！！

中学生向けリーフレットの作成

性に関する情報がインターネット上で氾濫している昨今、子ども達に正しい情報を得られる機関や相談先を紹介したいという思いで作成しました。

大人の学ぶを支援！！

ニュースレターの発行

保護者や教員の皆様に、思春期保健シンポジウムの様子や思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的にニュースレターを発行しています。 ※バックナンバーは下記の八千代市HPからダウンロードできます

思春期保健シンポジウムの開催

- 第1回「家庭・学校・地域でできることを考える」
- 第2回「家庭・学校・地域でできること」
- 第3回「市内校の実践から学ぶ思春期の子どもたちへの性と生の教育」
- 第4回「私達、大人が子どもたちにできること」
- 第5回「家庭・学校・地域のつながり、そして、親子のコミュニケーション」
- 第6回「親になった今こそ受けたい！いのちの授業 ～思春期向け、生と性の教育～」
- 第7回「オヤジも聞こう！ バック・トゥ・ザ・思春期 ～男子のこころとからだ～」
- 第8回「目からウロコリアルボイス～当事者の声から知る思春期の生と性～」
- 第9回「知っておこう！イマドキ思春期と性教育」
- 第10回「あなたのお子さんが被害者かも…～スマホの恐さについて～」
- 第11回「大切ないのち・大切なからだ～小・中学生に伝えている生と性の健康講座を保護者にも伝えたい～」

シンポジウムでは、思春期の生と性に関する現状や課題について様々な話題を取り上げています。内容はニュースレターに掲載しているので是非ご覧ください。



やっち